「全日本選手権 10 ダンス　JDSF東海北陸ブロックダンススポーツ シニアⅡ選手権大会」 大会レポート

2021 年 6 月 13 日　名古屋市の千種スポーツセンターで、ある大会がおこなわれていました。

その名も「全日本選手権10（テン）ダンス　ＪＤＳＦ東海北陸ブロックダンススポーツ　シニアⅡ選手権大会」　競技ダンスやダンススポーツと呼ばれている競技の日本選手権大会と東海北陸ブロック大会です。

映画「シャル・ウィ・ダンス」やテレビでタレントが挑戦しているのを見たことがあるのではないでしょうか。

今回は競技ダンスとは、どんな競技なのか、その魅力に迫るべく　大会の現地レポートをしていきます。

○競技会場にて

まず目に飛び込んできたのは、華やかな衣装に身を包んだ選手たち。男性は燕尾服に蝶ネクタイ。女性はきらびやかなドレスにハイヒール。ここは本当に千種スポーツセンターなのか？まるで中世ヨーロッパにタイムスリップしたかのような光景です。

○ダンススポーツ（競技ダンス）とは

「ダンススポーツ」は、「競技ダンス」とも言われています。「社交ダンス（ボールルームダンス）」をベースとしつつ、スポーツ性を追求して独自に発展した競技スポーツです。

ダンスの種類を音楽のジャンルにより、大きくわけると、スタンダード種目（ワルツ、タンゴ、ヴィニーズワルツ、スローフォックスロット、クイックステップ）とラテン種目（サンバ、チャチャチャ、ルンバ、パソドブレ、ジャイブ）があります。

ワルツやタンゴ、サンバは聞いたことがあるのではないでしょうか。

この種目の中から大会ごとに指定された種目を踊り、順位が決定します。

もっと詳しいルールを知りたいという方は、日本ダンススポーツ連盟のホームページをご覧ください。

日本ダンススポーツ連盟 HP（https://www.jdsf.or.jp/）

○「全日本選手権 10 ダンス　ＪＤＳＦ東海北陸ブロックダンススポーツ　シニアⅡ選手権大会」

今回の大会は「全日本選手権 10 ダンス」と「ＪＤＳＦ東海北陸ブロックダンススポーツ　シニアⅡ選手権大会」が同時に開催されていました。

今回の大会のうち「ＪＤＳＦ東海北陸ブロックダンススポーツ シニアⅡ選手権大会」ではスタンダード種目だとワルツ、タンゴ、スローフォックストロットを踊ります。

これらの各種目を１分１５秒から２分程度行います。ワルツを踊り、タンゴを踊り…と連続していきます。

また、全日本選手権 10 ダンスはスタンダード５種目ラテン５種目の計 10 種目を踊ります。踊る際にはスタンダード、ラテンと分かれていますが、連続で５種目踊ることになります。すごい体力です。

○現地レポ

　やはり非常に華やかです！！
　皆さん激しいダンスをしていながら、体の動きだけでなく、曲に合わせ表情まで豊かに表現しており、ついこちらも同じ表情になってしまいます。

　競技フロアをところ狭しと動き回りながらダンスをしており、あまりに激しく、競技者同士でぶつかってしまうのではないかと思いました。しかも当日の場所取りなどは事前に決められている訳ではなく、当日のアドリブだそうです。
　決められているのは競技エリア内を時計回りに回るということだけ!
　瞬時に回りの状況を判断し、どのくらいステップの幅を取るのかを決めるなど、対応力が求められます。

　競技の順番を待っている間は、優雅なダンスが行われている競技エリアのすぐ横で最終調整をしており緊張感が漂います、、、

　競技ダンス観戦は非常におもしろいですが、１点難点があります、、、それは写真を撮るのが難しいということです。

　たしかに緩急のあるダンスをしており、一瞬停止するときもありますが、その一瞬を収めるのが非常に難しいです。本記事の写真もピントが合っていなかったり、、、申し訳ないです。

　みなさんへうまくお伝えでき無いのが歯がゆいですが、実際に現地に行ったり、動画などで競技ダンスを是非ご覧いただければと思います。

○大会結果

　今回の優勝組は大西大晶（２３）・咲菜（２０）ペアでした。優勝おめでとうございます。お２人は富山県出身で兄妹ペアだそうです。

YouTube チャンネルもお持ちとのことなので、一度お２人の素晴らしいダンスをご覧ください。

掲載サイト：愛知県スポーツ局競技・施設課
https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kyougi-shisetsu/sports-column.html